勇気凛々

No. 387

あおいりんご

JCI Hirosaki

発行日：2021年11月30日

発行人：公益社団法人弘前青年会議所　弘前市大字東長町47－2
TEL：0172－34－4458　URL：https://hirosakijc.com/

創立70周年記念式典

友好団体へ記念品贈呈

歴代理事長感謝状贈呈

太田歴代理事長挨拶

理事長挨拶

友好団体からのビデオメッセージ

2021年10月２日土曜日　弘前市民会館で公益社団法人弘前青年会議所創立70周年記念式典が執り行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者を制限しての開催となりました。

当会は創立70周年のテーマとして「つなぐ～想いを受け継ぎ、次代へつなげる～」をテーマに掲げ、活動しております。今までの感謝そして、これからのより一層の飛躍を目指し、今回式典を開催させていただきました。

友好団体の皆様への感謝状・記念品の贈呈、歴代理事長への感謝状の贈呈、そして80周年へ向かって進んでいくための長期ビジョンの発表を行いました。

また、OB会から記念品として長期ビジョン旗を頂戴いたしました。

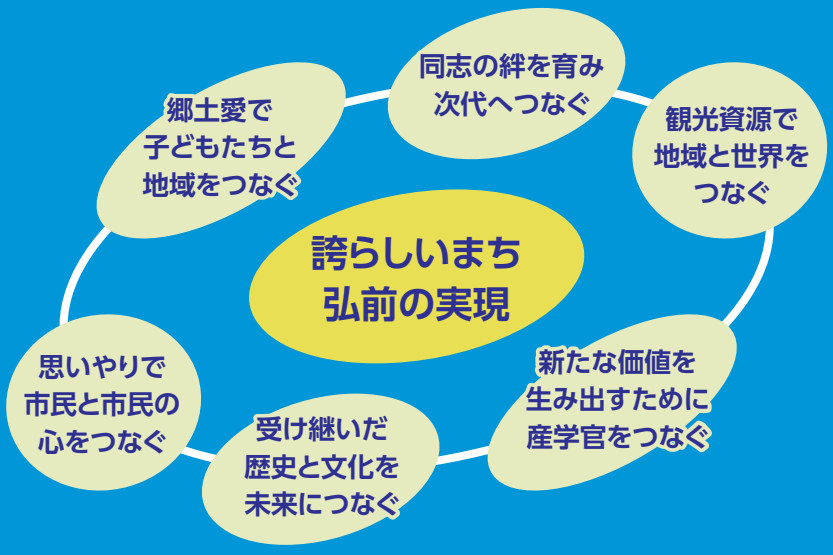
我々は「これまでの諸先輩方が築いてきたこの地域と想いを受け継ぎ、次代を担う仲間につなげていかなければならない。また、諸先輩方から受け継いだ想いを原動力として、郷土愛を以て地域と次代を担う子どもたちとをつなぐことで持続可能な地域を創造することが必要である」と考えております。加えて、距離や世代を超えて培ってきた大切な仲間との絆を次代の仲間につなぐこともまた必要であります。全ては愛する地域と未来を担う子どもたちのために、誇らしいまち弘前を実現できるよう、会員一同運動に取り組んで参ります。

創立70周年記念式典特別事業 ～特別対談「誇らしいまち弘前」～

創立70周年記念式典で発表されました当会の新たな長期ビジョン「誉れ！ひろさき運動」を実現するために、弘前青年会議所が今後どのような運動を展開していくべきか。まちづくりのトップランナーであります櫻田宏弘前市長・今井高志弘前商工会議所会頭をお迎えし、①これまでの各々の取組みについて②郷土愛について③未来を担う子どもたちについて、３つのテーマで様々な意見を交わしました。

長期ビジョンについて、弘前青年会議所単独で達成するのは、難しい課題であると思います。今回様々なご意見を頂戴し、弘前市、弘前商工会議所、各種地域団体の皆様に協力を求めながら、運動を展開していければと思います。弘前市、弘前商工会議所、弘前青年会議所に３者とも成り立ちや役割は異なる組織ではございますが、郷土愛について未来を担う子どもたちについてお話を頂いたとおり目指すところは愛するこの弘前をよりよく繋げていきたいということにありました。志を同じくする者として、ぜひ今まで以上にパートナーシップを組ませていただき、力を合わせて誇らしいまち弘前であるように、運動を展開していきたいと思います。

創立70周年長期ビジョン ～誉れ！ひろさき運動～



当会では本年、創立70周年を迎えるにあたり、今後10年間の運動の指針となる創立70周年長期ビジョン「誉れ！ひろさき運動」を策定致しました。この長期ビジョンでは、私たち会員の故郷への想いと、私たち会員により良い成長の機会を与えてくれる弘前青年会議所への想い、さらに、弘前市が掲げる弘前市総合計画の内容も踏まえて、私たちが目指すまちの理想の未来として、「誇らしいまち弘前」の姿を具体化致しました。そして、「誇らしいまち弘前」を実現するための施策として、６つのプロジェクトから成る「つなぐ！プロジェクト」を取り纏め、今後の事業構築の柱に据えることと致しました。2022年度以降、この運動を力強く推進し、愛する地域と未来を担う子どもたちのために「誇らしいまち弘前」の実現を目指して参ります。そして、いつの日かこのまちが全ての弘前人にとって誉れ高いまちとなることを強く願いながら、これからも全力で邁進することを会員一同固くお誓い申し上げます。

今年度及び、次年度理事長対談

司会：竹内博之

①小山田理事長

Q.2021年度の青年会議所運動を振り返って

新型コロナウイルス感染症警戒レベルを設けて始まった2021年度、感染状況が予測できないなか、各委員会には様々な場面を想定しながらの事業構築をして頂きました。新年祝賀会は完全WEB、会員研修や例会は現地とWEBのハイブリット、「潜入！真夏の夜の弘前城」は子どもたちに現地参加してもらいながら、当会創立70周年記念式典は参加者を制限しながらも弘前市民会館で盛大に開催することが出来ました。そして剛情張大太鼓は警戒レベルに左右されない事業手法にて現在進めております。安易に中止することなく、かといって感染拡大を軽視せず、事業ごとにその事業の意義に向き合い、どうやって目的を達するか思い悩んだ結果、感染を拡大させることなく、出来る限りの運動が展開出来たものと思っています。また会員の家事や育児負担を少しでもサポートしようと県内に先駆けて育LOMを宣言しましたし、市の販売促進緊急対策に素早く呼応し「ヒロサキクエストⅡ」をWEB懸賞という新たな手法で開催しました。そして年度が変わろうとしている今、日本青年会議所2019年度会頭鎌田長明先輩をお招きしての会員研修の開催を計画しています。まさに機に臨んで変に応じた2021年度だと思います。

②太田次年度理事長

Q.2022年度の青年会議所運動の抱負と意気込み

今まさに次年度理事候補者の皆様とともに、2022年度の運動の柱となる各事業計画の協議に取り掛かっております。2022年度もこれまでの年に負けない位、優秀で個性が輝く理事候補者が集まってくれたと思っています。この頼もしい仲間たちと共に挑戦する一年間がどんな年になるのか、今からとても楽しみでワクワクしております。

思えばこの２年間は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により様々な制約があったなかで、それでも青年会議所運動の灯を消すことなく、今できることは何か、求められていることは何なのかを精一杯模索しながらしっかりと前を向いて進んで参りました。

来年、新型コロナウイルスの影響がどうなるかは依然として不透明な状況です。しかし、この２年間で学び、蓄積してきたことを存分に活かし、私たちのまちが、会員一人ひとりが、そして私自身がより良く成長できるよう、精一杯楽しみながら挑戦していく決意です。

③小山田理事長

Q.2021年度の理事長職務を踏まえて、次年度理事長候補者に伝えたいこと、期待

理事長の１年は長い人生の中でもきっとかけがえのない１年になると思います。様々な機会や出会いがあり、様々な喜びや楽しみがあり、様々な判断や決断に迫られ、相応の苦労もあると思います。そしてこの１年はとても短く、立ち止まっていたらあっという間に過ぎ去っていきます。70年紡がれてきた「弘前青年会議所理事長」とは何か、私は今頃になってやっとその後ろ姿がうっすら見えてきたような気がしています。だからこそ残された限りある時間を最終最後まで勇気凛々に邁進し、全うする所存です。太田次年度にはぜひ、来年は新たな一歩踏み出す！といった悠長なことではなく、今の候補者期間にしっかりと助走をつけて、トップスピードでバトンを受け取り、年初から駆け抜けていってもらいたいと思います。直前理事長として最大限のサポートをお約束します。

④太田次年度理事長

Q.③の小山田理事長回答を踏まえての認識と、理事長候補者としての所信

小山田理事長がおっしゃられたように、多くの歴代理事長が理事長としての１年間はとても短くあっという間にすぎていくとおっしゃっています。また、様々な困難と直面するなかで、それでも決断を下さなければならないことが予想されます。しかし、私には支えてくれる仲間と頼れる先輩方が付いています。どのような場面においても下した判断に後悔することのないよう、その瞬間々を大切にしていきたいと思います。

また、2022年度の基本理念として、「大器晩成～共により良く成長しよう！～」、スローガンに「挑戦を楽しもう！」を掲げました。

青年会議所は40歳で現役会員としての卒業を迎えますが、そこが人生のゴールではありません。むしろそこからがスタートといってもいい。そのために青年期である20代30代をどう過ごすのか、自分の中の限界という壁をどう乗り越え大きく成長できるかが、今後の人生に大きな影響を与えるのではないかと思います。

大器は一夜にして成らず。私たちはまだ若いのだから、失敗したっていいじゃないですか。いつの日か大きな成功を掴むために、いまはたくさんのことに挑戦して、多くの経験を積み重ねましょう。その経験がいつの日か必ず実を結ぶ時がきます。

そして、「共によりよく成長しよう！」とは、あなたと私、そして、私たちとこのまちが、私たちに係るすべての人が、共により良く成長してほしい、そんな願いを込めています。

私は所信のなかで多くの事柄に触れていますが、会員の皆さんに伝えたいことは大きく２つです。一つは、失敗を恐れることなくどんどん挑戦しようということ。もう一つは、どうせ挑戦するなら楽しんでやろう　ということです。私たちが楽しんで行動しているその姿は必ず周囲の人たちにも伝わり、多くの人を巻き込んでいくきっかけになっていきます。

全ての会員とともにより良い成長を目指して、１年間挑戦することを楽しみたいと思います。

⑤小山田理事長

Q.青年会議所運動を踏まえて今後ご自身の展望（今後の目標や夢など）は

今年度理事長となって今までとは見える世界が変わりました。理事長を終えたとき、そして来年直前理事長を終えたとき、また見える世界が変わるのでしょう。その時見えたものを大切にして次へと進んで行きたいと思いますが、まずもって卒業までの残された来年１年は入会以来育てて頂いた弘前青年会議所に感謝し、今までに頂いた学びや経験を後進の皆さんに残していきたいと思います。

津軽剛情張大太鼓技術継承事業

10月24日（日）、追手門広場にて津軽剛情張大太鼓技術継承事業として津軽剛情張大太鼓のプロモーションビデオを撮影致しました。

津軽剛情張大太鼓の魅力を発信・共有することで、弘前市の祭りや伝統文化を活性化させることを目的として開催致しました。

2020年、2021年連続でねぷた合同運行が中止となり、約２年振りに津軽剛情張大太鼓を叩く音、囃子の音、鐘を叩く音を聞いて、久し振りに胸が躍りました。

動画が完成し次第、弘前青年会議所ホームページ、弘前観光コンベンション協会ホームページ、弘前青年会議所Facebook、弘前青年会議所Twitter、Youtubeのヒロサキチャンネルに動画を掲載致しますので、是非ご視聴頂ければと思います。

弘前青年会議所は、今後も地域活性化を目的に掲げて各種事業を展開してまいります。

弘前青年会議所を支えた卒業生紹介

秋元　駿一 君

JCで沢山の方にお世話になりました。入会してからというもの、多くの迷惑もかけ、沢山叱っていただきました。なんでやらなくてはならないのかと自問自答しながら時に同志と悔しくて泣きながら、多くの時間をJCに使いました。JCは、一歩踏み出さないと自分が成長できない場所です。自分はいいからと言うのは、すごくもったいないです。ぜひ素晴らしい同志をみつけて、外へ出て多くの人と出会って下さい。仲間、会社の皆様に感謝、そして今の家族を持てたこと本当に感謝します。JCやってよかった。皆さん10年間ありがとうございました。

木村　　歩 君

弘前青年会議所に入会して４年が経ち気付けば卒業となりました。

理事経験は一度だけですが、ひたすら議案を書き、意義目的に悩み、食べて飲み交流し、汗を流し、ときには眠らず、そういったことの意味が今になりやっと理解できたと思います。

その結果として、商売繁盛、私生活は充実し、結婚することもできました(笑)

ときには回り道することも大切であると思います。その道にはきっと意味があり、必ず自分の糧となり、成長へつながります。理事者経験のない方はぜひチャレンジしてください。

今まで本当にありがとうございました！

葛西　　晋 君

私の入会の動機の一つに、私の子どもの頃の記憶に鮮明に残っている、JC活動を仲間と共に一生懸命行っていたOBである父の姿がありました。家にいる時とも、仕事をしている時とも違う、弘前のために働く父たちの背中に憧れました。何か事業がある度に、小学生の３人の娘たちを連れて行きました。父と同じ背中を見せられたのかは分かりません。でもきっと数十年後入会すると思います。そんな娘と弘前の為に、これからも紡ぎ続けて下さい。

菊池　　勲 君

これまでの活動を振り返ると、入会して５年間、仕事を理由に参加しないことばかりでした。今思えば、参加しなかったこの時期が一番の心残りです。理事となり、「JC活動とは何か？」を知る機会が増えるほど、価値が高まり、仲間と共に事業を創り上げることにはpricelessな価値と感動がありました。

私にとってJCとは自己成長の場です。感謝の重みやリーダーシップとか、大切な気づきの場となりました。共に過ごした仲間に心から感謝しています。